

## 大東町海潮地区 [ 神楽の宿の屋根の葺き替えについて ]

Q264

神楽の宿の屋根の葺き替えについて予算がついたとのことを聞いているが、振興会で準備している茅のこともあるが、全部葺き替えができるのかまたは一部か、どの程度の予算規模になっているか。ぜひ全部の葺き替えをお願いしたい。茅の不足は振興会で寄せていきたい。

A

基本的には見積もりの状況からは全部葺き替えられる予算だと思っています。

しかし、現地の茅の状況などにより、今後専門家との協議や地元の皆さんとの話し合いも必要と考えますので、現在は具体的な葺き替え計画ではありません。市としても全部葺き替えるつもりで頑張っています。(大東総合C)

## 大東町佐世地区 [ スポーツ施設へのAEDの設置について ]

Q265

各スポーツ施設にもっとたくさんのAEDの設置をすべきではないか。

A

AEDは国の経済対策を活用して、今年度なるべく早く全校に設置します。(教育委員会)

(注)「AED」とは、自動体外式除細動器のことです。小型の機器で、体外(裸の胸の上)に貼った電極のついたパッドから自動的に心臓の状態を判断します。もし心室細動という不整脈(心臓が細かくブルブルふるえていて、血液を全身に送ることができない状態)を起こしていれば、強い電流を一瞬流して心臓にショックを与えること(電気ショック)で、心臓の状態を正常に戻す機能を持っています。

## 大東町佐世地区 [ 地域総合型スポーツ補助金について ]

Q266

地域総合型スポーツ補助金として雲南市から大東と加茂だけに420万円出ているが実態がよくわからない。

A

地域総合型スポーツ事業は、日本スポーツ振興センターの活動助成を受けて実施するものですが、補助金申請され、その要件を満たした事業に交付されるものです。(教育委員会)

## 加茂町中村・昭和・星野・雲並、東谷、砂子原、中村団地、東谷団地[文化協会への補助金について]

Q267

文化協会には、大変厳しい経済状況の中、予算をつけていただいた。今年度は、絵画展を開催する予定だ。第1回目のときは11月あたりに講演会をしたが、交付金は年度末に貰えた。講師の先生の講演料は立替払いをした。予算が決まっているなら、すぐにお金を出してほしい。

A

個々の補助金が、いつの時期に各種団体に渡っているかは不明ですが、事業計画の段階で交付申請をしてもらったときに交付していきます。(教育委員会)

平成21年度市政懇談会（まとめ）

木次町三新塔地区 [ 木次体育館の修繕について ]

Q268

雲南市木次体育館は雨漏り対策にブルーシートが張ってあるが、雨漏りは最優先で修繕すべき。ぜひ予算化して雨漏りの修繕をしてほしい。

A

合併後よりシートを張ったりして対応してきており、未だに抜本的な修繕ができておりません。多くの利用者があるため、財政協議等しながら前向きに検討していきたいと思います。（教育長）

三刀屋町飯石地区 [ チャレンジデーについて ]

Q269

チャレンジデーが最近では停滞化している。予算額は知らないが、地域住民の健康維持ということで別の方策として予算を有効に使うべきだ。町内で対抗してみるとか。

A

健康づくり、体力づくりを目的で5月に実施しています。他の事ということもありますが、三刀屋はビーチバレーをしたりしていただいています。お金については市の持ち出しはありません。新しい取り組みということですが、様々な意見をいただいて検討していきたいと考えます。（教育委員会）

三刀屋町飯石地区 [ 顕彰事業について ]

Q270

合併5周年を迎え、旧町村の一体化が必要と考える。いろいろ方法はあると思うが、市内の偉人（小滝長官や大東の大臣、永井博士等）を顕彰するような方策はないか。また、三刀屋総合センターにある小滝長官の銅像は後ろに樹木があったほうがよいと思う。

A

顕彰事業としては、当地、三刀屋町では永井博士の幼少期という全国でもすばらしいことがあります。

ハード的なものは困難ですが、ソフト的な事業は検討したいと思います。貴重な意見として承りました。（教育長）

A

小滝長官の銅像は移転に90万円かかりました。現在、ブロックがあって、サツキが植えてあります。限られた予算でよい移転ができたと思っています。（三刀屋総合C）

吉田町吉田地区 [ 菅谷たたら修繕について ]

Q271

菅谷たたらは日本で唯一の永代たたらであり、かなりの見学者が訪れる産業遺産群の地域であるが、菅谷たたらの屋根と元小屋をはじめその周辺には、早急に補修修繕すべき箇所が相当見られるところであり、早急にその対応をされるよう要望する。

A

重要有形民俗文化財である「菅谷たたら山内」は、雲南市の貴重な歴史遺産であり、これまで田部家の所有となっていました。このほど田部家から指定文化財の大部分の寄附を受け、雲南市が主体となって管理、保存を行うこととなりました。

「菅谷たたら山内」の保存修理事業にあたりましては、文化庁調査官の現地確認や保存修理のための事前調査、あるいは保存修理検討委員会を組織して修理計画や防災計画の策定などの事前準備

## 平成 21 年度市政懇談会（まとめ）

を行う必要があります。

ご要望のありました高殿や元小屋等の施設修繕につきましては、老朽化が激しく、保存修理が必要なことは十分承知しております。このため、国の緊急経済対策で保存修理ができないか国に対しても働きかけましたが、対策メニューに該当する事業がなく、活用ができませんでした。

いずれにしましても、これらの業務は雲南市だけで進める事はできず、文化庁や県教育委員会の指導を受けながら進める必要があります。

今後は、保存修理について文化庁、県教育委員会と協議し、国等の有利な補助事業の活用も視野に入れながら、市の財政状況を踏まえつつ検討して参りますのでよろしく申し上げます。

（教育委員会）

## 掛合町入間地区 [ 出来山鉾山の調査について ]

Q272

八重山神社周辺が文化財調査の対象となり嬉しく思う。出来山地区にも出来山鉾山が手付かずの状態に残っている。石見銀山のような事例もあるし朽ちてしまう前に調査してもらえればと思う。

A

出来山の鉾山の話は初めて聞きました。調査のことは文化財 G に伝えます。（教育長）